第１８回市民自治推進委員会　産業躍動部会会議録

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年１１月１５日（木）　１８：００～

◆ 開催場所：アーニス２階会議室

◆ 出席部会員：部会長　　川田　弘教

副部会長　吉田　武史

 　　　　　　　部会員　　近井　一夫

　　　　　　　　　　　　 宮下　裕次

　　　　　　　　　　　　 安達　陽子

　　　　　　　　　　　　 大澤　玲裕（協働推進庁内委員会副部会長）

【商工労政Ｇ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　鈴木　高士

　　　　　　　　　　　　 小川　昌宏

森元　俊明（協働推進庁内委員会部会長）

【観光経済部次長】

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

塚崎　翔太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：ウオーキングツアーの改善点等の検討及び１１月２６日開催の料理教室の最終確認

● 会議の要点

【料理教室について】

　・５０人募集するところ、現状３２名の申し込みがある。

　・４品中１品を登別産のサケを使った料理とする。

　・サケ２本を確保済み、他の材料も含めて１万円の予算で実施する。

　・教室の開始前に産業躍動部会長よりあいさつを行う。

　・川田部会長、事務局の塚崎が教室に参加する。

【ウオーキングについて】

　ツアーに対する意見の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 問題点等 | 改善策（案） |
| トイレがない | 小中学校、相原商店に協力を求める |
| ルーペで石を見てもよく分からない | 結晶の形など軟石の基礎知識を事前に教えておく、サンプルを渡す |
| 話を聞いているだけでは単調になる | 金槌で軟石を割る、アオノ産資でピクニック、パワースポットとしての演出、道中で軟石を見つけるなどの課題を与える、相原商店で休憩・軽食、化石林をＡＲ（拡張現実）で再現 |
| 道の片側にしか歩道がない場所がある | 必ず歩道を歩くよう誘導する |
| 資料が持ちにくい | コンパクトな資料にする（Ａ４に収める）、首から下げられるようにする、ＱＲコードで資料を表示させる |
| リタイヤした人や負傷者への対応が必要 | 相原商店に協力を求めるサポーター役を同行させる |
| 作ったツアーをどう活用するか考える必要がある | 旅行会社へ提案をする、ガイドが直接客を募集する、インターネット上でマッチングを行う |
| おみやげがあると良い | 軟石の箸置き等を開発する |
| 思ったより長いコースだった（季節にもよる） |  |
| 歴史のある道を活用したい |  |
| 今回の１３人は、定員としては多すぎた | ガイド１人で対応できる人数を考える |

　・トイレの件だけ解決できれば、実際にツアーを催行する中で参加者の意見を反映して改善をしていける。

　・次回の部会に荒川氏に入ってもらい、上記の問題点等について、専門家の目で改善策を検討する。のち、ゲートウェイセンターなどの意見も伺う。

　・相原商店については、事務局で連絡を取る。

　・今後のスケジュールは、今年度中にコースの設計や資料の作成を行い、来年度に他部会のメンバーを入れてのツアー試行および市民を集めてのツアーを催行する。

【次回について】

●ウオーキングツアーの問題点や、その改善等について

日程未定